

# 輝け若人

私が建築について学びたいと思うきっかけは日々の生活の中にありました。幼いころから工作が好きで、さまざまな想像を膨らませ「こういう仕組みのものがあったら」「こういう家があったら」と考えました。また、私の家は木造の3階建てで、ダイニングには、大きな吹き抜けと三角窓があります。住宅街の中ですが窓がたくさんあり、木々が植えら

れていて、風の心地よさやあたたかい光を感じられる空間になっています。その中で育った私は自然と、人々が心地よいと思える住宅

くっていく、という夢があります。正直、最近までは街中の家を見ては、自分の中で良い悪しを比べていました。しかし大学3年生にな

しているのだと気づきました。家の周りの植栽や窓からの光、風の空間体験など、建築物で良いなど感じる部分はまだ

## 大事にしたいこと



第一工科大学 3年  
建築デザイン学科

### 橋本 佳林 さん

中で、自分の核となるような「大事にしたいこと」は何なのか、どうしてそれが大事だと思うのか、それは人々にどういった影響を与えるのか、しっかり考えていきたいと思えます。そして想像するときの楽しさやわくわくを忘れずに、デザイン力を鍛え、専門的な知識の勉強に励んでいきたいです。

をつくりたいと思うようになりまし。

私は、暮らす人が豊かで幸せな一生を過ごせるような家を建て、それが広がり街をつ

り建築会社を調べる中で、どの会社にも大事にしていることがあり、

良いと感じた住まいは、自分がその会社が大事にしている部分に共感

はっきりとは分かりませんが、自分が建築を考える上で求めていることではないかと思

います。これから大学で学